

成年後見センターネットワークニュースNo.7

令和 7(2025)年 8 月 発行：土別地域成年後見センター

全国的に暑い毎日が続いていますね。北海道の夏も年々暑さが厳しくなっているように感じます。暑さのピークは過ぎたように思いますが、まだまだ体調に気を付けて元気に過ごしていきましょう🌻

『令和 7 年度 第 1 回市民後見人フォローアップ研修』

令和 7 年 6 月 25 日(水)に市民文化センターにおいて第 1 回市民後見人フォローアップ研修を行いました。講師に合同会社ノースリーフ代表社員の橋本 憲幸氏をお招きし「雇用を通じて考える～障がい者支援～」と題して講話をいただきました。

障害福祉サービス、障害福祉サービス事業所、障害の種類について説明を受け、就労支援を受けてい



る利用者が実際に働いている動画の視聴もさせていただき、事例紹介の後、グループワークを行いました。

障害をお持ちの方を支援することもあるため、対象者の理解を深めること、支援にあたる際に意識すること等とても参考となる内容でした。

グループワークにおいては、さまざまな視点から活発な意見交換がなされ、市民後見人同士の交流の機会にもなったと思います。



＼出前講座やっています！！／

老人クラブやサロンにお招きいただいて制度説明を行ったり、行政や民生委員向けに現状と課題についての説明を行ったりしています。出前講座のご依頼がありましたらお気軽に連絡願います。

☎0165-26-7500



＜＜出前講座の様子＞＞



「市民後見人さん紹介コーナー」

6 人目のご紹介として、田中 茂一さんにインタビューをしました。



▶市民後見人をやってみようと思ったきっかけはなんで
すか。

田中さん：土別地区保護司会から養成研修会への参加要
請があったことです。

▶どのようにして市民後見人になりましたか。

田中さん：養成研修を受講後、後見人バンクに登録し、
フォローアップ研修に参加し受任しました。

▶市民後見人としてどのような活動をしていますか。

田中さん：月 1 回、施設を訪問して生活状況や健康状態等
を確認しています。訪問時にはカレンダーや田園風景の写真などを持参
して本人に見てもらい、視覚から過去の記憶を呼び起こし、コミュニケ
ーションが図れるように意識しています。

▶実際に活動をしてみての感想を聞かせてください。

田中さん：不安はありましたが、後見センターと連携した支援内容は訪問活動から
始めたので、現在のところ大きな負担感はありません。

▶今後、市民後見人を目指す方や興味をお持ちの方に向けてメッセージをお願いし
ます。

田中さん：近年、高齢者や障がい者の家族や親族が後見人をできなくなっている現
状から、身近な市民の立場で成年後見を担う「市民後見人」はますます
必要とされると思います。

